乗鞍
高山植物図鑑

乗鞍岳で出会える
52種お花をご紹介

中部山岳国立公園
乗鞍岳〈乗鞍スカイライン〉

参考資料/岐阜県乗鞍環境パトロール資料「乗鞍 花三昧図鑑」
協力/五色ヶ原の森案内人の会

1 コマクサ

高さ5～15cm。
砂礫地などに生える。葉は細かく裂けてパセリのよう。
魔王岳、大黒岳、富士見岳、鶴ヶ池周辺で郡生。お花畑にはない。

2 コイワカガミ

高さ10～15cm
草地、砂礫地、ハイマツの縁などに生える。葉は円形で光沢がある。
魔王岳、お花畑、鶴ヶ池周辺で郡生。

3 ミヤマクロユリ

高さ10～20cm
雪田などの湿った場所に生える。
花は暗紫褐色で少し黄色がまじり、茎の先に1～3個斜め下向きに咲く。
お花畑で多く見られる。

4 ヨツバシオガマ

高さ10～40cmで広葉草原や風あたりのやや強い草地に生える。
花は紅紫色で茎の上部に4個、4～8段に輪生。
鶴ヶ池周辺、お花畑に郡生。

5 ハクサンイチゲ

高さ20～50cm。
花は直径2～2.5cmで2～6個つく。
大黒岳、鶴ヶ池周辺、お花畑など全域で見られる。

6 コゲイケイソウ

高さ0.5～1m。
花は白色で円錐状に多数つき、両性花で側枝に雄花がつく。
根茎は有毒。
鶴ヶ池周辺、お花畑入口に点在。

7 ミヤマキンバイ

高さ7～20cm。
砂礫地、草地、雪田の周辺などに生える。葉は3枚、まれに5枚。花は2～7個。鮮黄色で直径1.5～2cm。
鶴ヶ池周辺、大黒岳、お花畑などで郡生。

8 シナノオトギリ

高さ10～30cm。
草地や砂礫地に生える。つぼみは赤く、花は直径2.5～3cmで1～数個つき鮮やかな淡黄色。秋には葉が真っ赤に紅葉する。
鶴ヶ池周辺、お花畑入口などに群生。

9 ミヤマダイコンソウ

高さ10～30cm。
岩隙や斜面の岩礫地などに生える。
葉、茎、がくなどに剛毛がある。
花は鮮黄色で直径1.5～2cm。
大黒岳で多く見られ、お花畑不動側でも点在。

10 ウサギギク

高さ15～35cm。
草地に生え、全体に縮毛が密生する。
花は黄色で直径4～4．5cmで1個つける。高山蝶が止まって蜜を吸う姿がよく見られる。
鶴ヶ池周辺、お花畑で点在。

11 ミヤマキンポウゲ

高さ10～30cm。
草地や岩礫地、雪田などでも群生する。茎は太くてまっすぐに伸びる。
花は茎の先に数個つき、黄色で直径1．5～2cm。
鶴ヶ池周辺、お花畑に群生。

12 チングルマ夏

高さ10cm。
葉は暑くて光沢があり、花は秋になると綿毛になる。
鶴ヶ池周辺、お花畑などで郡生。

13 チングルマ（秋の綿毛）

花が終わり花柱が放射状に伸び綿毛となる。落葉小低木であるため、紅葉も楽しめる。
子供の風車に見えたことから稚児車と呼ばれる。

14 ミヤマアキノキリンソウ

高さ15～20cm。
草地や礫地に生える。花は多数集まって咲き、黄色で直径1．2～1．5cm。
花が終わると綿毛になる。
鶴ヶ池周辺、お花畑で郡生。

15 ミヤマコウゾリナ

高さ10～40cm。
全体に柔らかな感じがする。
花は数個つき、濃い黄色で直径1．5～2cm。つぼみは黒みを帯び、褐色の長毛と茶褐色の密な短毛がある。
鶴ヶ池周辺、お花畑に点在する。

16 コウメバチソウ

高さ3～15cm。
高山帯の湿地、岩隙などに生える。
葉は丸く、茎にくっついている。
鶴ヶ池周辺、お花畑で郡生。

17 イワツメクサ

高さ10～20cm。
マット状に広がり、花は茎の先に白い花を1～8個まばらにつける。
鶴ヶ池周辺、お花畑、魔王岳頂上付近で株になって郡生。

18 ミヤマタネツケバナ

高さ4～5cm。
茎の先に白い小さな花を2～6個つける。
魔王岳階段横などにひっそり咲く。

19 ミネウスユキソウ

高さ10cm程度。
高山帯のやや乾燥した草地、礫地に生える。葉の表面は緑色で綿毛はないが、裏面には綿毛が密生する。
白雲荘周辺石垣、スカイライン上に数株。

20 ホソバツメクサ（別名コバノツメクサ）

高さ2～8cm。
よく株分かれをして株を作る。
花は星形の白色で直径5mm。
白雲荘向かいの鶴ヶ池周辺で郡生。

21 ミヤマミミナグサ

高さ5～20cm。
高山帯の砂礫地、岩礫地に生える。
鶴ヶ池周辺の特に白雲荘向かいや石垣に点在。

22 ミネズオウ

高さ3～6cm。
砂礫地、岩壁などに生える。
花は鐘型で赤みを帯びた白色。
魔王岳頂上付近、大黒岳、お花畑で郡生。

23 シラタマノキ

高さ10～30cm。
葉は革質で白い花を1～6個つける。秋に白い実をつける。
鶴ヶ池白雲荘側石垣上などに群生。

24 ツガザクラ

高さ6～15cm。
岩の割れ目や礫地、草地に生える。
花は枝先に1～5個つき、横向きや下向きにつく。
魔王岳に1か所、富士見岳下の道沿いに点在。

25 イワウメ

枝は地をはってマット状に密生。
花は直径1.5cmの短い鐘形で5中裂。
大黒岳全域、富士見岳中腹～上部に見られる。
花が終わると茎が伸びてくる。

26 コメバツガザクラ

高さ5～10cm。
茎は革質で3個輪生。
魔王岳、大黒岳、富士見岳など山頂付近で多く群生。

27 イワヒゲ

高さ10cm。
花は約8mm壺上鐘型で浅く5裂し反り返る。
富士見岳下の岩がむき出しになっているところに数か所群生。

28 アオノツガザクラ

高さ10～15cm。
草地や岩礫地に生える。花は壺形で口がぎゅっと閉じている。
鶴ヶ池周辺、お花畑で多く見ることができる。

29 ジムカデ

高さ10cm程度。
草地や礫地、岩隙に生え、地をはって広がる。花は白色に近く、枝先に1個つけ、長さ4～5mmでやや先がつぼまった広鐘形。
お花畑の一部に群生。

30 キバナシャクナゲ

風衝地、ハイマツ林の林縁に生える。
葉は厚い革質で淡黄色の花が3～6個つく。魔王岳、不消ヶ池周辺やお花畑でも群生。

31 ミヤマゼンコ

高さ20～60cm。
葉は3～4回羽状に裂け、鋸葉は鋭い。
お花畑に多く点在。夏になると、ハナアブが多く止まっている。

32 モミジカラマツ

高さ20～50cm。
湿った草地に生える。花は直径1～3cmで花弁はなく白い雄しべが目立つ。
お花畑入口付近で多く群生。

33 ハクサンボウフウ

高さ10～30cm。
上部で枝分かれし直径2～3mmの白い花を多数つける。
お花畑や雪渓が融けた後の斜面に群生。ツキノワグマの大好物。

34 ウラジロナナカマド

樹高1～3m。日本固有種で中部地方以北の亜高山帯から高山帯に生える。
葉は光沢がなく無毛。裏面は白く名に由来する。他にタカネナナカマドがある。
雪田地帯、鶴ヶ池畔に点在。
秋の紅葉は見事。

35 シラネニンジン

高さ15～30cm。
葉はニンジンやパセリにそっくり。
高山帯の風衝草原では丈が低くなる。
お花畑で多く見られる。

36 イワギキョウ

高さ5～10cm。
葉は薄く、縁には突起状の浅い鋸葉がある。青味の強いコバルトブルーに近い紫色。斜め上向きに咲く。花に毛はない。全域で見ることができ、石垣やアスファルトの隙間にも群生。

37 チシマギキョウ

高さ5～15cm。
砂礫地、風衝草原などに生える。
先端に青紫の花を1個つける。
花の先は5裂、縁に長い毛があり下向きに咲き、大きく開くことはない。
大黒岳、富士見岳の一部で郡生。

38 トウヤクリンドウ

高さ10～30cm。
花は淡い黄色に近く青緑色を帯びた斑点があり、茎の先に1～数個つく。
お花畑、鶴ヶ池周辺、剣ヶ峰登山道脇にも群生。

39 オヤマノリンドウ

高さ20～60cm。
草地や低木林の林縁に生える。
花は青紫で茎の先に1～7個つく。
完全に開ききることはない。
お花畑入口や魔王岳頂上から奥のハイマツの下に数株。

40 ハクサンチドリ

高さ10～40cm。
葉は3～6個つき、基部は茎を抱く。
花は紅紫色で総状に数個～10個つく。
白雲荘向かいに1株あり、スカイライン道沿いにはところどころに点在。

41 ネバリノギラン

高さ20～25cm。
湿った草地に生える。根生葉は長さ4～25cmで花の外側は粘る。
秋になるとオレンジ色に紅葉する。
お花畑入口周辺に点在。

42 オンタデ

高さ0.3～1m。
砂礫地や岩礫地に生える雄雌異株の多年草。
全域で見ることができ秋の種はライチョウの好物。

43 ショウジョウバカマ

高さ10～25cm。
やや湿った草地に生える。2～6個の花を横向きにつける。
鶴ヶ池周辺、お花畑の湿った場所で見られる。花が終わると丈が伸びる。

44 ミヤマアカバナ

高さ5～20cm。
草地やハイマツの下などに生える。
花弁は紅紫色で長さ4mm。
鶴ヶ池周辺、県境付近の側溝の中などでも見られる。

45 ミヤマホツツジ

高さ30～50cm。
湿地の周辺や低木林に生える落葉低木、花は外側が赤みを帯びた常緑白色で3全裂する。魔王岳頂上より大丹生池が見えるあたりと鶴ヶ池雪渓向かいスカイライン道沿いに群生。

46 クロクモソウ

高さ10～40cm。
高山帯の渓流沿いの岩隙や草地に生える。花の1つは2～5mmで花弁は紫褐色で5個あり、質は厚い。
お花畑木道下に多く点在。

47 ミヤマイ

高さ10～40cm。
高山帯の湿った草地や砂礫地に群生する。花は茎の先につき、黒褐色で光沢がある。
お花畑木道沿いに一部群生。

48 ガンコウランの花

高さ10cm程度。
ハイマツの縁、風衝低木地などに生える雄雌異株。
魔王岳階段上部や頂上広場、大黒岳、お花畑などで見られる。
秋になると黒紫の実をつける。

49 ガンコウランの実

春の花の目立たない姿とは逆で、秋の実はよく目に留まる。
果実は熟すと甘い、ライチョウがよく好み採食する。

50 コケモモの花

林縁、草地、岩礫地などに生える。
葉の先は丸く光沢がある。
花は鐘型で薄いピンク。秋になると直径5～7mmの赤い実をつける。
全域で見られる。

51 コケモモの実

秋の果実は赤く1～5mmほどと小さい。
甘酸っぱく高山帯ではライチョウが好んで採食する。

52 ハイマツ

雄雌同株の常緑低木。若枝には赤褐色の軟毛がある。古い樹皮は黒褐色、ハイマツの実は2年かけて成熟する。
全域で見ることができ、ライチョウの営巣でもある。

国の特別天然記念物 ライチョウ

氷河期の生き残りで、本州中部の高山帯のみに生息。日本は世界で最南限の生息域である。1700羽弱が日本に生息。温暖化の影響で近年急速に減少しており絶滅が危惧されている。乗鞍岳のライチョウをファウンダーとした人工飼育による保護増殖事業が全国各地で行われている。

ライチョウ（メス）
「クゥークゥー」と鳴く。冬期以外は、まだら模様。

ライチョウ（オス）
眼の上に立派な肉冠がある。
「グヮーグヮー」と鳴く。冬はメスと共に真っ白に換羽する。